

実行委員会第1回常任委員会
令和8年2月10日決定

信州やまなみ国スポ・全障スポ

式典基本計画



行こう。それぞれの頂へ。



長野県PRキャラクター
「アルクマ」
©長野県アルクマ

信州やまなみ国スポ・全障スポ

第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会

目次

式典基本計画の策定にあたって	2
1 第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会の概要	3
▶大会名・開催時期・実施競技 ▶愛称・ロゴデザイン ▶スローガン ▶マスコットキャラクター	
2 式典の概要	5
▶式典テーマ ▶式典基本方針	
3 次第	6
▶総合開会式・開会式 ▶総合閉会式・閉会式	
4 主軸となる演出の方向性	8
5 式典音楽	10
▶基本的な考え方 ▶式典音楽隊編成の構想 ▶使用曲の構想	
6 式典演技	12
▶基本的な考え方 ▶出演者の構想	
7 各競技会表彰式	13
▶基本的な考え方 ▶企画・運営の実施主体 ▶内容 ▶実施上の留意点 ▶その他	
8 その他	15
▶炬火について	

式典基本計画の策定にあたって

国民スポーツ大会は、国民体育大会（国体）の名称で、昭和21年（1946年）の第1回大会以来、国内最大の国民スポーツの祭典として広く親しまれ、国民の健康増進と体力向上、地方スポーツの推進と地方文化の発展などに寄与してきました。

長野県では、昭和53年（1978年）に「日本の屋根に手をつなぐ」をスローガンに、第33回国民体育大会「やまびこ国体」を、冬・夏・秋季の全シーズンを通じて同一県で行う完全国体として開催しました。

また、同年には、「さわやかに、あたたかく、ひたむきに」をスローガンに、第14回全国身体障害者スポーツ大会「やまびこ大会」を開催しました。

「やまびこ国体」「やまびこ大会」の成功は県民に自信と誇りをもたらし、本県のスポーツ振興の大きな礎となるとともに、スポーツの感動を世界に発信した平成10年（1998年）開催の長野冬季オリンピック・パラリンピックの原動力にもなりました。

そして、前回開催から50年目、長野冬季オリンピック・パラリンピックから30年目の節目の年となる令和10年（2028年）に、第82回国民スポーツ大会と第27回全国障害者スポーツ大会を長野県で開催します。

両大会を開催する上では、「スポーツを通じた元気な長野県づくり」の実現に向けて、障がいのある人もない人も楽しめるスポーツの機会拡大による共生社会づくりの加速化や、信州の地域資源を活用した県民参加のおもてなしの展開や本県の魅力発信による長野県のファンづくりなど、両大会を決して一過性のイベントに終わらせることなく、その後の長野県の発展につながる大会とすることを目指しています。

総合開・閉会式をはじめとする式典は、全国から集う多くの選手団や観覧者をおもてなしの心で温かく迎え、エールを送るとともに、本県の価値や魅力を発信する絶好の機会です。こうした機会を最大限生かすべく、本県ならではの式典の基本的な考え方を明らかにし、式典全体の準備の円滑な推進を図るため、式典基本計画を策定します。

1 第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会の概要

▶ 大会名・開催時期・実施競技

第82回国民スポーツ大会

- 開催時期 【冬季大会】令和10年（2028年）1月26日（水）～ 1月30日（日）（スケート競技会・アイスホッケー競技会）
2月16日（水）～ 2月19日（土）（スキー競技会）
【本大会】令和10年（2028年）9月9日（土）～ 9月27日（水）（会期前）
10月1日（日）～ 10月11日（水）（本会期）
【総合開会式会場】長野県松本平広域公園陸上競技場（長野県松本市）
【総合閉会式会場】キッセイ文化ホール（長野県松本市）
- 実施競技 【正式競技】37競技 【冬季大会の正式競技】3競技
【特別競技】1競技
【公開競技】8競技
【デモンストラーションスポーツ】24競技（令和8年2月10日現在）

第27回全国障害者スポーツ大会

- 開催時期 令和10年（2028年）10月21日（土）～ 10月23日（月）
【開・閉会式会場】長野県松本平広域公園陸上競技場（長野県松本市）
- 実施競技 【正式競技】14競技
【オープン競技】4競技（令和8年2月10日現在）

1 第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会の概要

▶ 愛称・ロゴデザイン

信州やまなみ国スポ・全障スポ

日本の屋根と呼ばれ、多くの美しい山々を有する長野県。

大会に関わるすべての人が、信州の山脈のようにつらなり、手を取り合い、未来へとつながる大会を目指します。

▶ スローガン

行こう。それぞれの頂へ。

頂点を目指すだけが大会の意味ではなく、それぞれにそれぞれが想うゴールがあります。

選手や観戦する人、ボランティアなど、大会に関わるすべての人が、自分の思い描く頂（いただき）を目指す様子をイメージしています。

▶ マスコットキャラクター



長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ

『アルクマ』

信州をクマなく歩きまくり、信州の魅力を世の中にクマなく広めるのが生きがい。

「ゆるキャラ@グランプリ2019 in しあわせ信州NAGANO」でグランプリを獲得した全国的な知名度を生かし、信州やまなみ国スポ・全障スポの開催気運の盛り上げに奮闘しています。

2 式典の概要

- 式典は、信州やまなみ国スポ・全障スポの開・閉会式及び両大会の各競技会表彰式で構成します。
誰にでも「居場所」と「出番」があり、多様性を尊重する共生社会づくりに向け、国スポ・全障スポの一体的な開催を図り、「行こう。それぞれの頂へ。」のスローガンのもと、「信州やまなみ国スポ・全障スポ」にふさわしい式典とします。
- 3巡目以降の国民スポーツ大会の在り方を巡り、（公財）日本スポーツ協会を中心に全国知事会や文部科学省など多様な関係団体による議論の動向を踏まえ、炬火の演出を見送ることを検討するなど式典運営の簡素化に向けて創意工夫を図ります。

▶ 式典テーマ **行こう。それぞれの頂へ。**

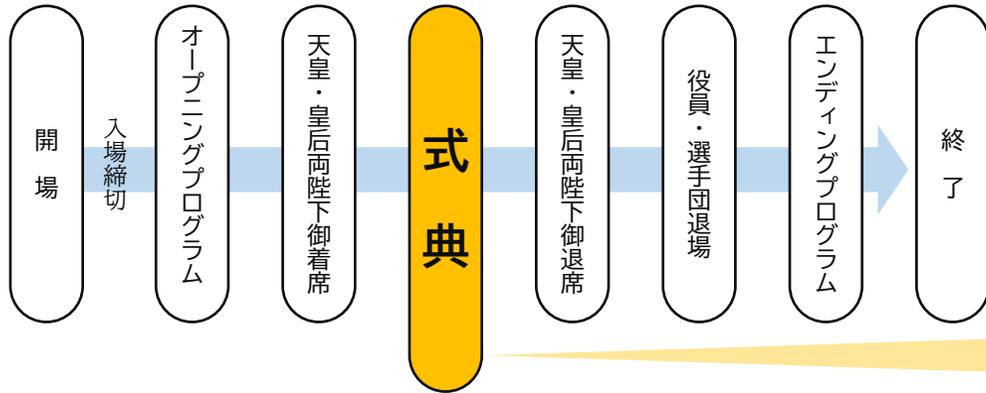
信州やまなみ国スポ・全障スポのスローガンに込められた、
“選手や観戦する人、ボランティアなど、大会に関わるすべての人が、
自分の思い描く頂（いただき）を目指す”
というメッセージを式典でも共有し、その実現を目指します。

▶ 式典基本方針

- ① 式典に関わるすべての人が、自ら思い描く頂（いただき）を目指し、様々な場面で光り輝くことで、全国の参加者が夢と感動を共有できる式典とする。
 - ・ 式典に「参加する」人、式典を「みる」人、式典を「ささえる」人すべてが自らの頂を目指して躍動し、光り輝き、ワクワクする式典を目指します。
 - ・ 全ての県民の力と元気を結集して、スポーツを「する」「みる」「ささえる」ことの楽しさや喜びを多彩に表現し、スポーツの持つ限りない力を発信します。
- ② 簡素で効率的な運営を基本としながら、ゼロカーボン社会への貢献とエンターテインメントの創出を追求し、創意工夫を凝らした式典とする。
 - ・ 県民一人ひとりが持つ元気と力を結集し、簡素で効率的な式典運営を目指します。
 - ・ 2050ゼロカーボン実現に向けた県民の行動変容や、式典に参加する人、みる人の心を動かすエンターテインメントの創出に向けて、創意工夫を凝らします。
- ③ 来県者を温かいおもてなしの心で迎え、美しい自然や滋味豊かな食、悠久の歴史と文化など長野県の魅力を全国に発信する式典とする。
 - ・ 県民がおもてなしの心をもって来県者を迎え、来場されるすべての人の心に残る式典を目指します。
 - ・ 豊かな自然環境や風土、文化など信州ブランドを多面的に発信し、信州の多様な魅力の再発見や長野ファンの獲得につながる式典を目指します。

3 次第

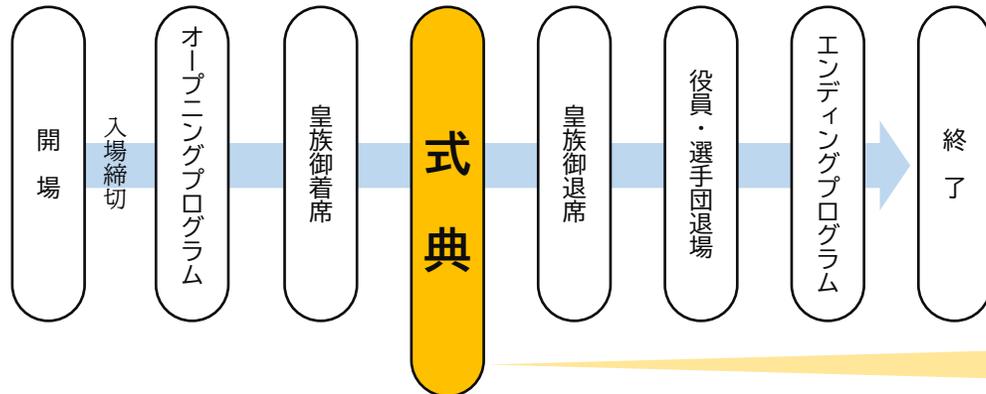
第82回国民スポーツ大会 総合開会式



※次第は現時点の案です。

今後、公益財団法人日本スポーツ協会と協議の上、正式に決定します。

第27回全国障害者スポーツ大会 開会式



※次第は現時点の案です。

- 閉式通告
- 選手代表宣誓
- 天皇陛下おことば
- 文部科学大臣あいさつ
- 大会会長あいさつ
- 天皇杯・皇后杯返還
- 長野県旗・松本市旗掲揚
- 大会旗・日本スポーツ協会旗掲揚
- 国旗掲揚
- 開会宣言（長野県知事）
- 役員・選手団入場
- 開式通告

原則 60分以内

ブルーインパルス展示飛行

これまでの多くの総合開会式では、開式通告後にブルーインパルスの展示飛行が行われてきました。

長野県においても、信州やまなみ国スポ総合開会式に彩りを添えて一層の盛り上げを図る観点から、関係機関とブルーインパルス展示飛行の実現に向けた協議を進めます。

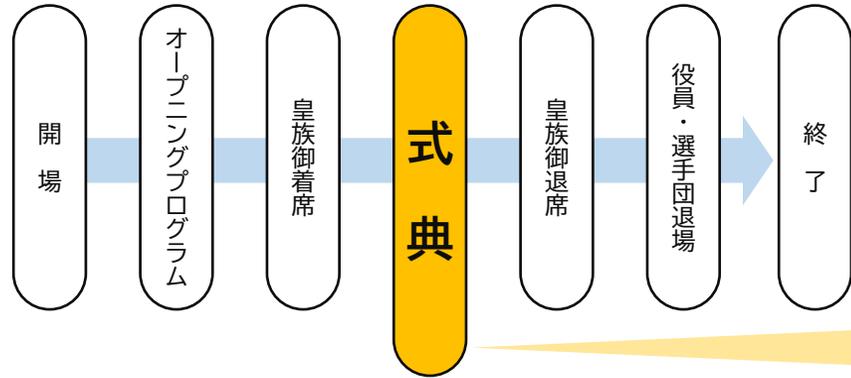
両大会とも、式典演技は役員・選手団の入場から退場までの間に実施することを検討します。

また、役員・選手団入場は隊列を組む従来のやり方を見直し、選手団がパレードのように自由にリラックスして入場できる方法を検討します。

- 閉式通告
- 選手代表宣誓
- 皇族おことば
- 文部科学大臣あいさつ
- 長野県旗・松本市旗掲揚
- 大会旗掲揚
- 国旗掲揚
- 開会宣言・大会会長あいさつ（長野県知事）
- 役員・選手団入場
- 開式通告

3 次第

第82回国民スポーツ大会 総合閉会式



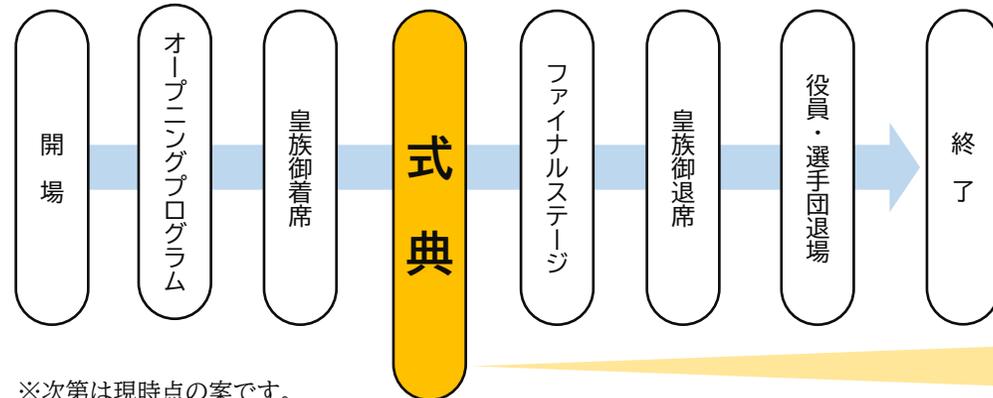
- 閉式通告
- 閉会宣言（長野県知事）
- 群馬県旗儀礼
- 国スポ旗引継
- 国旗儀礼
- 大会旗・日本スポーツ協会旗儀礼
- 長野県旗・松本市旗儀礼
- スポーツ庁長官あいさつ
- 大会会長あいさつ
- 天皇杯・皇后杯授与
- 表彰状授与
- 成績発表
- 開式通告

原則
60分以内

※次第は現時点の案です。

今後、公益財団法人日本スポーツ協会と協議の上、正式に決定します。

第27回全国障害者スポーツ大会 閉会式



- 閉式通告
- 閉会宣言（松本市長）
- 群馬県旗掲揚
- 大会旗引継
- 国旗降納
- 大会旗降納
- 長野県旗・松本市旗降納
- 皇族おことば
- スポーツ庁長官あいさつ
- 大会会長あいさつ（長野県知事）
- 開式通告

※次第は現時点の案です。

4 主軸となる演出の方向性

次に掲げる2つのテーマをバランスよく組み合わせた演出を主軸にする。

テーマ	表現方法の例	演出アイデア
スポーツの持つ 限りない力	スポーツの楽しさや喜びを躍動感あふれるパフォーマンスや映像、音で表現	<ul style="list-style-type: none">● ダンスチームやチアリーディングによるダンスパフォーマンス● 競技の動きを取り入れた創作パフォーマンス● プロスポーツチーム所属選手によるスポーツの楽しさや本拠地の魅力紹介、選手応援メッセージ映像● 本県ゆかりのアーティストが手掛けたスポーツ応援ソングを用いた式典音楽
信州の多彩な魅力	信州の豊かな自然環境や風土、文化などの魅力を感じられるパフォーマンスや映像、音で表現	<ul style="list-style-type: none">● 郷土芸能パフォーマンス（和太鼓、獅子舞、歌舞伎など）● 書道パフォーマンス● 観光プロモーション映像● 信濃の国など本県にゆかりのある楽曲を用いた式典音楽

5 式典音楽

▶ 基本的な考え方

- ① 信州の自然や歴史、文化から着想を得た楽曲や、本県にゆかりのある楽曲を取り入れることで、信州らしさを表現した魅力ある式典音楽を目指します。
- ② 式典音楽隊は県内に活動拠点がある団体で構成するものとし、来場者や選手団をおもてなしの心で温かく歓迎する式典音楽を目指します。
- ③ 信州やまなみ国スポ・全障スポの一体的な開催を図るため、両大会で式典音楽と式典音楽隊は共有します。

▶ 式典音楽隊編成の構想

① 式典音楽隊の編成人数

区分	人数
吹奏楽隊	100名程度
合唱隊	150名程度

※各区分の人数は現時点の構想であり、吹奏楽隊の楽器編成や陸上競技場に配置する式典音楽隊席の検討状況等を踏まえ今後変更となる場合があります。

② 式典音楽隊の編成基準

- ・ 日常的な活動が活発で、一定の演奏・歌唱の水準を維持でき、各種練習会、リハーサル、総合開・閉会式及び開・閉会式に、地理的・時間的条件において参加が可能な団体とする。
- ・ 学校の出演においては、学校長の承認が得られ、引率等が確保できる学校とし、大学・職場一般においては、所属長等の承認が得られる団体とする。

5 式典音楽

▶ 使用曲の構想

信州やまなみ国スポ 総合開会式 / 信州やまなみ全障スポ 開会式

場面	国スポ	全障スポ
開式通告	ファンファーレⅠ 	
役員・選手団入場	入退場曲 	
開会宣言	ファンファーレⅡ 	
国旗掲揚	国歌「君が代」	
大会旗等掲揚	大会歌「若い力」	大会歌「空よ大地よ」
県旗等掲揚	県歌「信濃の国」	
天皇杯・皇后杯返還	得賞歌「見よ勇者は帰りぬ」	—
選手代表宣誓	ファンファーレⅢ 	
閉式通告	ファンファーレⅣ 	
役員・選手団退場	入退場曲 	

信州やまなみ国スポ 総合閉会式 / 信州やまなみ全障スポ 閉会式

場面	国スポ	全障スポ
開式通告	ファンファーレⅠ 	
役員・選手団入場	入退場曲 	
表彰状授与、 天皇杯・皇后杯授与	得賞歌「見よ勇者は帰りぬ」	—
県旗等降納	県歌「信濃の国」	
大会旗等降納	大会歌「若い力」	大会歌「空よ大地よ」
国旗降納	国歌「君が代」	
国スポ旗・大会旗引継	群馬県指定楽曲	
次期開催県旗掲揚	群馬県指定楽曲	
閉会宣言	ファンファーレⅤ 	
閉式通告	ファンファーレⅣ 	
役員・選手団退場	入退場曲 	

 大会用に新たに作曲又は編曲することを検討します。

6 式典演技

▶ 基本的な考え方

- ① 式典演技は信州やまなみ国スポ・全障スポの開会式において実施します。
- ② 全国から来県する選手団に歓迎の気持ちを伝え、エールを送るため、式典演技は役員・選手団の入場から退場までの間に実施を検討します。
- ③ 信州の未来を担う子どもたちや障がいの有無を超えて集結した人たちが躍動しながら、パフォーマーと選手団・観覧者との間に一体感を創出し、すべての人の心に残る演技を目指します。
- ④ 信州やまなみ国スポ・全障スポの一体的な開催を図るため、両大会で演技内容を統一し、一体感のある構成とします。

▶ 出演者の構想

- ・ 保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、大学、高等専門学校、専修学校など長野県内の学校等に在籍する園児、児童、生徒、学生
- ・ ダンスパフォーマンスなどを通じて、人々に元気や感動を届ける活動を日常的に行うパフォーマンスチーム
- ・ おもてなしの心をもって選手団に歓迎の気持ちを伝え、エールを届けたいという熱意を有する方

7 各競技会表彰式

▶ 基本的な考え方

- ① 簡素な中でも、会場地市町村の特色を生かすとともに、全力を尽くした選手たちの健闘を称える内容とします。
- ② 個人競技での大会新記録や団体競技での最得多点など選手の活躍にスポットを当て広く発信するため、選手個人を称える表彰制度を検討します。

▶ 企画・運営の実施主体

【国スポ】 会場地市町村実行委員会が競技団体と協議の上、企画・運営に当たる。

【全障スポ】 県実行委員会が競技運営主管団体と協議の上、企画・運営に当たる。

▶ 内容

- ① 信州やまなみ国スポにおける各競技会表彰式については、（公財）日本スポーツ協会が定める「国民スポーツ大会開催基準要項」及び「同細則」に基づき、概ね次のとおりとします。
 - ・開式通告
 - ・成績発表
 - ・表彰状授与
 - ・大会会長トロフィー授与
 - ・競技会会長閉会のあいさつ
 - ・会場地代表歓送のことば
 - ・国旗降納
 - ・大会旗・実施競技団体旗・会場地市町村旗降納
 - ・閉式通告
- ② 信州やまなみ全障スポにおける各競技会表彰式については、上記の例によらず、競技の特性や種目に応じて実施します。

7 各競技会表彰式

▶ 実施上の留意点

- ① 表彰式の内容及び所要時間は、選手のコンディションに配慮したものとします。
- ② 1競技が複数の会場地市町村にわたる場合は、当該市町村実行委員会と競技団体が十分協議の上、実施します。
- ③ 大会会長トロフィーは、表彰式において授与するまでの間、表彰式を実施する会場地市町村実行委員会が責任を持って保管します。
- ④ 特別競技及びデモンストレーションスポーツに係る表彰式の内容については、前頁の内容に準じます。ただし、大会会長トロフィー授与は除きます。
- ⑤ 公開競技に係る表彰式については、中央競技団体が内容等を決定します。

▶ その他

この取扱いに定めるもののほか、表彰式の実施に必要な事項については、会場地市町村実行委員会が競技団体等と協議の上、別に定めることとします。

8 その他

▶ 炬火について

- ・ 信州やまなみ国スポ・全障スポにおいては、式典準備・運営の簡素化を図る観点から、両大会の開・閉会式では炬火点火・納火などの演出は実施しない方向とし、今後、（公財）日本スポーツ協会と協議の上、正式決定を目指します。
- ・ これに伴い、従来は会場地市町村が主催してきた市町村採火イベントについても、長野県では実施しないこととなります。

（参考：炬火の見直しを検討する背景）

- ・ 公益財団法人日本スポーツ協会は、令和8年（2026年）の第80回国民スポーツ大会から、国民スポーツ大会マークを現行の炬火を模したマークから「J.G. マーク」に完全移行する計画であり、炬火のあり方をゼロベースで見直す契機となる。



- ・ 本県では現在、長野県松本平広域公園陸上競技場の建て替えを実施中。旧陸上競技場の炬火台は老朽化のため解体撤去し、新陸上競技場には常設の炬火台を設けない。

行こう。それぞれの頂へ。



信州やまなみ国スポ・全障スポ

第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会



信州やまなみ国スポ・全障スポ実行委員会



大会Webサイト